

◎ヒエル・マグネ・ボンデビック ノルウェー首相

会長およびご参加の皆様

オスロとノルウェーにお越しいただいたすべての皆様に心からの歓迎の挨拶を述べさせていただくことは、私にとって大きな喜びです。国際協同組合同盟2003年総会は、ノルウェーで初めて開かれるICA総会です。

ICAは、100カ国以上の組織を代表し、7億5000万以上の組合員を有しています。この数字は、本当に印象的な数字であり、協同組合が国際的に果している重要な役割がここに示されています。それはまた、地域レベルであれ、全国ないし国際レベルであれ、共通の挑戦課題を実現する上での、協働することの付加価値を示すものです。

ノルウェーでは協同組合運動が、わが国の福祉社会の発展に重要な貢献を果してきました。

ノルウェー協同組合運動には、ノルウェーの社会進歩と社会的公正に貢献してきた、長い歴史が記録されています。農業、漁業、消費者、住宅の各協同組合は、具体的な成果を生み出し、永年にわたって、人々の日々の暮らしを多様に変えてきました。

ノルウェー農業協同組合運動は、最初の小さな酪農協同組合が設立された、1850年代に、既に始まっています。農業協同組合は、それ以来、農業のみならず農村地域が必要とする地域事業の発展において、キー・ファクターであり続けました。

住宅部門では、住宅協同組合が、第二次世界大戦後の社会的住宅政策の実施において、中心的なパートナーでした。その目的は、住民に入手可能な住宅を提供することでした。オスロでは、住宅全体の40%近くが協同組合住宅であり、全国レベルでの数字は15%です。

さらに協同組合は、その他の多くのノルウェーの社会・経済生活において組織されています。その分野は、輸送やエネルギー供給などの分野の事業協同組合から、保健、学校、地域ラジオ・テレビ製作、保育などのより小さな協同組合に及んでいます。

子どもの頃、私はノルウェーの西海岸の小さな町で育ちました。協同組合運動はわが国のそうした地域においても活発でした。少年の頃、地域の小さな協同組合食品店でお菓子を買ったことが、とりわけ記憶に残っています。

消費者協同組合は、私が子どもの頃利用した地域店舗を含めて、今ではわが国の経済の重要な担い手となり、ノルウェーの小売市場の25%を占めています。

ご参加の皆様

現代協同組合運動がノルウェーに確立したときには、インスピレーションと知識は外国から集められました。今日では、ノルウェー協同組合が、自らが獲得した経験を使って、他の国々の協同組合にインスピレーションを提供しています。

本総会のテーマは、「民主主義・社会・経済の発展のための協同組合」です。ICAは、発展途上諸国および移行諸国における協同組合開発振興において、中心的役割を果しています。

協同組合運動を鼓舞し導いてきた諸価値は、最初の協同組合がロッチデールに設立された、150年前と同様に、今日も有効です。自助、自己責任、民主主義、平等、公正および連帯は、地域コミュニティの発展においても、各国民および国際レベルにとっても不可欠です。

今日、世界は、深刻な挑戦課題に直面しています。私たちは、貧困と闘わなければなりません。環境を守らなければなりません。テロと闘わなければなりません。あらゆる機会を捉えて、協同組合の価値を振興しなければなりません。民主主義、連帯、人権尊重に基づく協同と共通の努力は、それらの課題を実現し、我々全員に利益をもたらす最良の道です。

最後に、ご参加の皆様

総会のご成功と、ノルウェーに楽しく滞在していただくことを期待致します。

◎コフィ・アナン 国連事務総長

世界中の幾百万の男女が、協同組合の連帯組織と事業体に自らを組織することによって、自分たちと家族、コミュニティに、まともな（尊厳ある）暮らしと、経済的福祉、および機会の拡大を保障している。19世紀のささやかな出発以来、協同組合運動は、その組合員数と影響力の双方の意味において、グローバルな市民社会における重要な勢力となってきた。7億6000万以上の人びとが、協同組合セクターに携わり、100カ国以上で、人間の努力のほとんどあらゆる領域において活動している。平等、連帯ならびに自助に基づく人間中心の組織として、協同組合は、起業拡大および社会の安定と一体性における重要な要素である。協同組合はまた、適切で入手しやすい住宅や、公益事業、インフラストラクチャー、保健、ならびに社会的、資金のおよび保険サービスなどの、本質的なサービスをも提供している。

こうして協同組合運動は、千年紀開発目標達成のわれわれの努力においても、果すべき重要な役割を有している。（こうした目標を実現する上で）政治的、経済的にリードする優先的な責任を有するのは、国家である。しかし、協同組合は重要な貢献を果すことができる。2年前に、国連が、協同組合の確立を支援する環境を加盟国が創りだす上で役立つ、ガイドラインを作成したのも、そのためである。協同組合と政府がより緊密に協働し、人々が自らの生活を改善する機会を提供することは、まさに人々を勇気づけるものである。

国際協同組合同盟は、国連のすぐれた長期的パートナーであり、私は、共通善に対するわれわれの共同の探求を続けていくことを期待する。そうした連帯の精神において、総会の成功に対する私の心からの願いを受け入れていただきたい。

◎ローマ法王、ヨハネ・パウロ2世からのメッセージ（事務局ニュース）

ローマ法王ヨハネ・パウロ2世は、国際協同組合同盟総会のためにオスロに集まったすべての人に、心からの挨拶を送り、世界の貧困と闘う必要について審議するよう、祈りを込めた願いを伝えた。法王は、総会が、人間的社会の発展と生産的企業の成長にとっての根本である、連帯、補完性および参加という倫理的原則に対して、必要な多くの注意を払うものと信じる、と述べた。法王の希望は、総会代表がグローバル化された経済状況の中で、協同組合組織の振興の必要を考え、世界規模の連帯文化の普及に貢献することであり、連帯の文化は、各個人の尊厳と創造性を尊重すると同時に、共通善と真の人間発達の要件にあくまで奉仕するものであるとされた。こうした思いと共に、法王は、総会参加者に、智慧と強さ、平和という神の祝福があるよう祈った。

訳 菅野正純